

平成18年度予算案について

(平成18年2月3日 平成18年度予算(案)記者発表)

平成18年度の各会計予算案がまとまりましたので、その概要についてご説明申し上げます。

平成18年度予算につきましては、今日における国・地方を取り巻く厳しい財政環境のなかで、地方分権時代に対応した自主・自立の行財政運営を基本におきながら、編成にあたったところであります。



また、私の市長就任4年目の「最終年次の年」であるとともに、財政健全化対策の4年次目でもありますことから、引き続き、施策の重点化を図る一方で、「緊急性があるものを除き新規事業の凍結」、「全事業の見直し」、「内部管理経費の抜本的見直しによる徹底した削減」、「投資的経費の抑制」を基本として、足腰の強い安定した財政基盤の構築を目指すこととしたところであります。

さらに、当市の特性と優位性を踏まえるとともに、まちづくりの将来方向を見据え、「安心」と「活力」の2つを柱に、重点施策として、「子育て・教育」、「防災対策」、「人材の育成」、「企業誘致」、「観光振興」の各事業を位置付け、「人育て・市民協働により活力が循環する都市づくり^{マチ}」を推進することとしております。

また、新長期総合計画が目指す5つの都市づくりの目標に沿って、広範かつ多岐にわたる課題に対処するとともに、公約の実現に向け最大限の取り組みを進めたところであります。

この結果、一般会計総額では、467億5,591万5千円となり、前年度予算と比べ、121億6,956万5千円、35.2パーセントの大幅な増となっておりますが、これは土地開発公社の経営の健全化を図るために、プロパー用地分について、市が低利貸付を行うこととしたものであります。

また、特別会計では6会計の総額で、172億9,908万2千円となり、前年度予算と比べ、3億1,636万円、1.8パーセントの減となっております。

一般会計を含めた7会計の総額では、640億5,499万7千円となり、前年度予算と比べ、118億5,320万5千円、22.7パーセントの増となっており、「元気な子供・^{はぐく}育み予算」として取りまとめたところであります。

なお、当初、想定しておりました収支不足額約12億5,300万円につきましては、財政健全化対策を講ずることにより、基金からの繰入金約6億5,300万円を見込んでおりましたものが、4億5,000万円にまで縮減することができ、大きな課題の一つが達成できたものと考えております。

しかしながら、基金からの多額の繰り入れにより、収支バランスを維持している体質に変わりはありませんことから、引き続き、財政健全化に向けた取り組みを講じてまいります。

この予算案につきましては、3月1日に開催予定の第1回定例市議会に提案してまいります。

【重点施策】「人育て・市民協働により活力が循環する都市づくり」

- 1 子育て・教育
- 2 防災対策
- 3 人材の育成
- 4 企業誘致
- 5 観光振興

平成18年2月3日

千歳市長 山口 幸太郎